

シリーズ③ 学力向上への道
わが校の学力向上の
取り組み



中山中学校

◎合言葉は

「善い種をまごう！」

「善い種」とは「思いやりの気持ちや頑張る姿」のことです。一人一人が安心して学校の諸活動に取り組み、満足感を味わうことができるように、「善い種」を学校や地域にまいていこう、という取り組みをはじめて5年目。この合言葉が随分と定着してきて、学校生活の様々な場面で使われるようになりました。



▲生徒会マスコット「とりぼう」

シリーズ③ 学力向上への道

わが校の学力向上の
取り組み



中山中学校

生徒会マスコットの「とりぼう」は、「善い種」の象徴として、いつまでも全校生徒を見守っています。

◎「授業」が一番大切！

中山中学校が目指しているのは、「全員参加のわかる・できる授業」です。そのために、標準学力調査や全国学力・学習状況調査、中間期末考査や日々の授業での小テストなどを活用して、学力の実態把握と課題の明確化に努めています。

そして、毎時間の学習目標をはっきりさせ、基礎基本を大切にしながら、「よく聴いて、よく考えて、丁寧な活動をする」授業を進めています。

1学期に行った学習活動調査では、「授業では、先生の話をしっかりと聞いている 97・5%」「授業では、きちんとノートをとっている 96・8%」という結果でした。その時間にやるべきことを確実にこなし、それをこつこつと続けることで、学力は定着していきます。

しかし、「授業のために予習をして



▲授業中の一場面 ノートをとっている様子

いる・授業で習ったことは復習をしている」と答えた人数が少なかったことが課題です。授業で学習したことを確認したり、新しい考えや疑問が生まれたりすることが、次の学習につながると思います。家庭学習の目安時間である1年生105分、2年生120分、3年生135分（大山町家庭学習の手引きより）の達成を目指します。

◎みんなで勉強する！

一人一人がより快適に授業に取り組めるように、生徒会や学級でのキャッチアップ活動も盛んです。

チャイムと同時に授業を開始する

「チャイム着席」、大きな声で挨拶をしてから礼をする「分離礼」、「授業態度」や「忘れ物」など、生徒同士で声を掛け合って取り組みます。単に「できた・できない」を競うのではなく、自分の言動が周囲に及ぼす影響や、人と協力することの良さを実感できる取り組みとなっています。

◎見方、考え方を広げる！

生徒の授業の感想に、次のような一文がありました。

「国語と美術の授業で『レオナルド・ダ・ヴィンチ』について学びました。彼のことは『絵がうまい人』ということしか知りませんでした。学習したことにより、彼の絵のすごさがわかりました。絵を描くときに計算をしたり、奥行きを出すために作図をしたりして、他の教科でやるようなことをして絵を描いている彼は素晴らしいと思います」。

ただ言葉を覚えるだけでなく、その意味を考える学習を続けま

